



医療法人社団 東山会



適正な業務量の設定による医師の働き方改革を中心とした、 トップマネジメントによる働きやすい環境作りの推進

取組内容

【医師の働き方改革】

- 医師の働き方に基本勤務ルールを設定。また、病棟を見る医師の適正なデューティー数や入院患者担当数を設定。ベストパフォーマンスが出せる業務量を決定し、多様な働き方を組み合わせた柔軟なマネジメントすることで、医師の働き方改革を推進

【時間外労働・有給休暇取得率の共有】

- トップマネジメント会議で情報共有の上、時間外労働が多い部署にはヒアリングを行い、業務改善や人員構成の変更を実施

【個別事情への柔軟な配慮】

- 子育て中の女性医師や、配偶者が妊娠中の男性医師、家庭事情を持つ事務職員等、それぞれの個別事情に応じてきめ細やかな勤務上の配慮を実施
(例：子育て中の女性医師 → 17時に病院を出られるよう勤務調整)



活躍する女性医師



取組を進める東山会職員の方々

【設立】昭和57年10月
【代表者】理事長 小川 聡子
【職員数】426人(女性358人、男性68人)
【所在地】調布市

【事業概要】一般急性期病院である調布東山病院、人工透析を専門とする桜ヶ丘東山クリニック・喜多見東山クリニックの3医療機関を運営

背景・経緯

- 医療制度の変化、超高齢社会の中で、限られた医療資源の分配や多様なニーズに応えるべく、地域連携という医療の在り方への転換（機能分化の促進）が必要
- その中でダイバーシティマネジメントを、「市場環境の変化にもかかわらず、競争優位を築く（＝組織の価値創造）、『競争力向上のための人財活用』」であると捉え、取組を推進

効果

- 40%近い女性医師比率の達成
- 残業ゼロの部門（ドック・健診センター）の誕生
- 価値創造活動の活性化 → 専門・得意分野を活かした新たなプロジェクトの企画等
(例：糖尿病に対する運動療法の企画が地域を巻き込んだ啓発運動に発展)



ドック・健診センターの皆さん



糖尿病地域イベント